

地元・東京新聞 「船員ならではの一枚」

—— 海から届ける写真展@有明客船ターミナル ——

主に業界新聞に取り上げられてきた記念日「内航船の日」ですが、おかげさまで回を重ねるうちに一般新聞でも紹介していただけるようになってきました。山口新聞や神奈川新聞で詳しい記事が掲載されています。今年、ついに「海から届ける写真展」の拠点・東京の地元新聞社、東京新聞の取材を受けることができました。

市民社会と働く海運世界が繋がる記念日のイベント。応援ありがとうございます。資料として記事を転載しご報告いたします。(全日本内航船員の会 事務局)

東京新聞（令和元年成 11 月 16 日都心版）の記事を紹介いたします。 以下転載

(タウン) 江東 「船員ならではの一枚」

国内を航行する「内航船」の船員が撮影した写真十八点を集めた「海から届ける写真展」が有明客船ターミナルで開かれている。日本人の船員が減り続ける中、内航船の仕事の魅力をアピールするのが狙い。東京港埠頭（ふとう）と全日本内航船員の会の主催で、二十九日まで。

十五日は、東京港の見学に訪れた江戸川区立西葛西小学校の四年生百四十人が、写真展も見学した。児童たちは「夕方になったときの景色がすごくきれいだった」「富士山がきれい」「あんな景色が見られる船乗りさんがうらやましい」などと感想を述べた。

東京港埠頭の卯月（うづき）かほる客船ターミナル担当係長は児童たちに「きょうも北海道からたくさんのジャガイモやタマネギを積んだ船が、皆さんの食卓に届けるために着いています。船乗りさんたちが撮った海の景色を見て、こんなふうに働いているんだなと感じてください」と話した。

